

安全ガイド
自分で守ろう
大切な命



だけど、どうしたらいいのかな…

みんなの
まち
街



「子どもたちは
あんせんかしら…」



「ワイ人にあつたら
どうしよう…」



さあ、ページを開いて
みんなで考えよう！



こんなとき…

知らない人に「道がわからな
いからいっしょについてきて」と声をかけられたら…



ぜったいにいっしょに
ついていかない。



あなただ
つたらどうする?

とも 友だちが、声をかけられてこ
まっているところを見たら…



ちか すぐに近くにいる大人の人に
し 知らせ、助けをよぶ。



くるま の 車に乗っている人に話しかけ
られたけど、なんだかあやし
いと感じたり、連れこまれそ
うになったら…



くるま 車からすぐにはなれ、車の後ろの
うにげる。



エレベーターに乗って、不安
を感じたら…



かべ 壁に背中をつけて
せなか ボタンのすぐ近くに立とう。



ひとりでいる時、こんな電話
がかかってきたら…

がっこう 学校のお友だちの
とも 住所や電話番号を
わんぱく おしえてください。



ぜったいに教えない。

わからないので
がっこう 学校にきいて
ください



じゅうしょ、でんわばんごう 住所や電話番号は、大切な
たいせつ ひと おし ものです。知らない人に教
えてはいけません。電話が
かかってきたことも、後で
かなら ひと はな 必ずおうちの人に話しま
しょう。

安全のための

やくそく 4つの約束

1ひとりにならない

ひとりでいる子がねらわれやすい

ひとりでいると、何かがあったときにだれも助けてくれません。お友だちがいっしょなら助けあえるね！



おるすばんすることになったら…

どちらさまですか？
なんのごようですか？
家の人は今いそがしい
のであとで来てください

ドアは
すぐに
開けない！



3大きな声で たすけをよぶ

大きな声がだせないときは…

こわいとき、たすけてほしいときに、大きな声をだして、助けをよびましょう。
でも、ほんとうにこわい思いをしたときは、
大きな声がないかもしれません。そんな時は、防犯ブザーや笛をつかいましょう。



まずいっ！



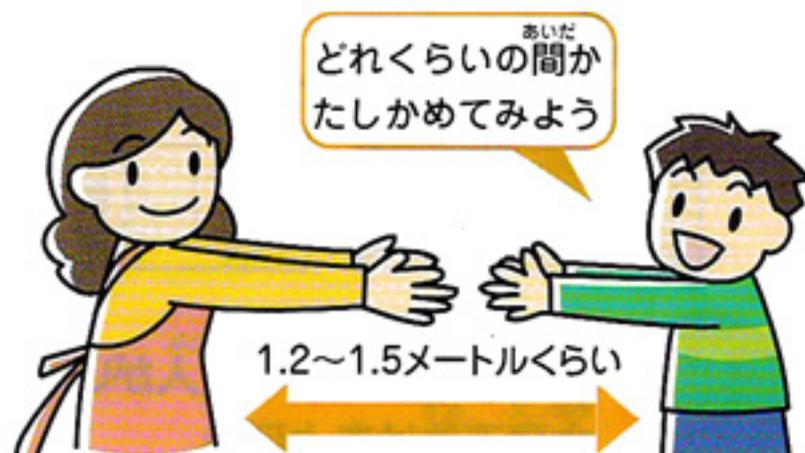
わるい人も
ビックリ！

たすけて！という大きな声
のかわりになります。

2しらない人に ついていかない

しらない人に話しかけられたら…

しらないひとに話しかけられたときは、「前へならえ」をして手がとどかないくらい間をあけて話しましょう。



どれくらいの間か
たしかめてみよう

1.2~1.5メートルくらい

もし、相手が悪い人だったとしても、すぐには手をだせないきよりだから、「安全けん」っていうんだよ。

4だれとどこで何時まで あそぶか家の人に話す

家の人気がいなかったら…

家の人がいなくて、遊びに行くことを言えなかったら…

電話をする

てがみを書く



○○くんと
5時まで
公園で
あそんで
くるね



○○くんと
あそんで
きます。

家の人は、みんながどこにいて、何時にかえってくるかしっていれば、安心です。約束した時間は守りましょう！

もしものときのために

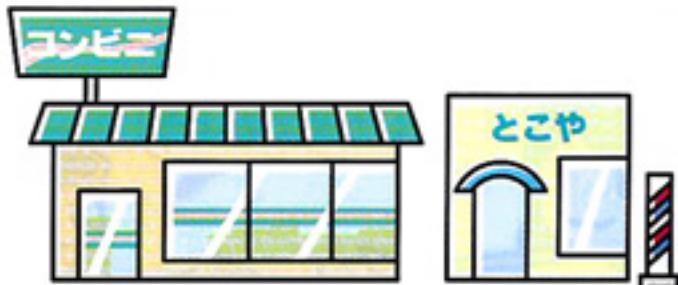
あぶないと思った時は、ここに逃げよう！



どこに
にげれば
いいのね…

このちいきにも「子ども110番の家」があります。
「子ども110番の家」はちいきによって、呼び方が
ちがうので、家人といっしょに、何とよんでいる
か、どこにあるか、たしかめておきましょう。

お店やコンビニ、どこやににげるのもいいね。



にげるチャンスはこんなときもあるよ。



これも
大切！

近くを歩いている大人がいたら、
大声で助けをよぼう

持ちものをはん人の足元に投げつける

ほかにも危険なことがあるよね！

家のまわりの、危険な場所を
おうちの人といっしょに
たしかめてみよう



交通事故

特に「とび出し」に
注意しましょう



＊＊おうちの方へ＊＊
お子さんを犯罪から守るためにには、
日常生活の中での防犯指導が必要です。「自分の身は自分で守らなければならぬ」ということを、具体的に、繰り返し教えてください。毎日の安全チェックで、小さなお子から自分の身を守るための習慣をつけましょう。



みんながまいにちたのしく、あんしんしてくらせるように、おまわりさんもがんばっています。
このガイドブックをよんで大切なのちをまもるため、自分でできることを考えてみよう！